

## 7/3 シグマ委員会幹事会議事録

日 時 : 昭和42年7月3日 9:30AM-1:30PM

場 所 : 原研本部第2会議室

出席者 : 百田, 中島, 飯島, 岩城, 坂田, 五十嵐

議 事 :

1. CINDA '66 配布について

CCDNより37部送られて来た。その配布先リストが配られそれについて検討した。

熊取(京大)宛1部は少いとの意見があり, NAIG, MAPI の2部は1部で良いとの意見も出た。

CCDNとしてはCINDA'67から全部で600部にとどめたい意向で, それをとえるものについては100F/冊の代金を取るとのこと。

2. KFK 120/Part I について

必要な人はSchmidtに請求してみる。

主査宛に来ていた2冊はNAIGとMAPIに貸す。

3. 43年度予算要求に関する経過

事務系の意向では核データ・センターとしてよりも研究室としたい意向が強い。

人員の純増は研究員1名, 補助3名が精一杯とのこと。

4. 原子力学会特別講演等の件

測定側の問題とか, many level formulaの話などが話題になった。とりまとめは核データグループが行う。メ切は7月10日

5. UK library

CCDNでUK libraryを入手, 配布する旨, CCDN Newsletter No.5に出ており, 又主査とColvinの間で話があり, 日本の計算機で使用している磁気テープの種類について話し合った。

6. 42年度予算の運用について  
器材類の要求を各グループから出す。7月中旬  
シグマの部屋の獲得について主査に一任。
7. 40, 41年度シグマ委員会活動報告を学会誌にのせる件。  
各担当者が原稿を持ちより検討した。7月15日までにとりまとめる。
8. 測定データのリクエストリストについて  
F.P. 関係から出せるかどうか討論が行なわれた。  
JNDCニュースにリクエストの常時受け付けを報告しておくことにした。
9. EANDC request list の報告をJNDCニュースにのせる。
10. 委員会の成果発表についての取扱い  
各グループで責任をもってcheckし, JAERI report にするか, memo  
にするかも各グループが決める。  
原研内について委員と所属研究室長との関係の考え方を検討整理し, そ誤の  
起らぬようする\*。
11. 運営委員会は8月下旬を予定する。

\*

・(追補) 原研外についても一応各委員の注意をかゝり起す。

以 上